

慶進高等学校の「今」をつたえる

The Keishin Times



20

手をつなぎ、心をつなぎ 255名でつむいだ かけがえのない物語



VOL.20 TOPICS

- 02 祝卒業
- 03 祝卒業・LIFE is KEISHIN
- 04 たすきをつなぐ
～受け継がれる伝統～
- 06 慶進の小窓
From the Locker Room
大学入試合格状況
Keishin Radio-Station

慶進高等学校

〒755-0035
山口県宇部市西琴芝二丁目12-18
☎0836-34-1111 ㊚0836-21-7228
ks@keishin-ug.ed.jp

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
突然ですが、みなさんは人が、人と人とのつながりを最も強く感じる行為がいかなる行為かご存知でしょうか。それは、「手をつなぐこと」といわれています。考えてみると、大切な約束を交わしたとき、契約が成立したとき

には、人は握手をします。皆さんの記憶に今でも刻み込まれているのは、全生徒徒が手をつないで大きな輪を作り、お互いの絆を確かめ合ったあの体育祭でしょうか。これから皆さんは一人ひとりが自身の目標実現にむけ、それぞれ別の道を歩みます。遠く離れた場所に立つ卒業式、これまでよりもいっそう固く手を握り合うことと思います。手をつなぐことで自分一人ではないということに気づきます。一人ではなく、多くの人と支え合って生きているということに気づきます。

慶進高校で繋がった見えない手をこれからも大切に。これから的人生で躓きそうになったとき、見えない手で繋がっています。人ごみの中で、自分の人生に迷いが生じてもきつと繋がっています。ご卒業、本当におめでとう。

平成二十八年 卒業生の皆さんへ

慶進高等学校 校長 花田 崇



これから敬意を表します。これからの人生、常に『笑顔と熱意を持って進まれることをお願いし、皆さんの前途に爛々たる陽光のふりそそがんことを心よりお祈りいたします。』

アドバンスコース・グローバルコースの皆さんは13期生として3年間、中高一貫コースの皆さんは8期生として6年間、それぞれのコースの特性を出し、互いに人格を高め、高い志を持ち、励まし合い『夢の実現に向けて様々な場面で元気で逞しく取り組み、学校行事や部活動で素晴らしい実績を挙げられ、本校の歴史にまた新たな一頁を刻み込んでくれました。ここに心

コース長 藤井 桜先生
ご卒業おめでとうございます。6年間もの長い時間を慶進で過ごし、いよいよ次のステージへと歩を進めるんですね。力強く前進するみなさんはとても頼もしく、私たち教員にも大きな勇気を与えてくれています。気づいてますか？後輩たちは、必死でがんばっているみなさんの姿を見て心を引き締め、憧れ、先輩たちを目標にしているようなことにチャレンジするようになりました。先輩になる卒業生たちは、自分の通っている大学にみなさんが入学するのを楽しみにしています。私たちはこうやってつな

がっていく慶進adamsの一員です。今春、新たなスタート地点に立つ8期生のみなさんのこと、誇りをもつてみななですと応援しています。

コース主任 黒瀬 清隆先生
中高一貫コース8期生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。みなさんが慶進中学校に入学してから、中学1、2年間の学習や学校行事などさまざまな事に興味を持ち楽しんで活動していた姿を思い出します。そして、6年間で人はこんなに成長するものなのかと感じます。しかし、今でも時折見

皆さん卒業おめでとうございます。更新させる多くの他者と遭遇したことと思います。もし、あのひと言がなければ、その人に逢わなければ、あらゆる他者とそれにつながる経験が今のあなたを構成しています。弾けるような喜びも、砂を噛むようななみじめな思いも、誰かと繋がった感覚も。あらゆる感情が今のあなたを交換不可能な一部です。人は、様々な他者に逢いながら(自分が誰かの他者となって)自分を発見し、発明していく存在です。本を読みなさい。人に会いなさい。あらゆる他者に敬愛感謝を忘れずに。

コース主任 村谷 勉先生
ご卒業おめでとうございます。人生は、絶えざる自己表現の旅であると言われます。夢や志の実現をめざして、絶えず努力し続ける。そこに「輝き」があると思えます。正しい道をしっかりと進んでいれば、必ず志を同じくする人が

2組 武富 有朋先生
卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。この春からの進路については、自分の人生を切り開くべく真剣に考え、未来へ真正面から向き合った結果の進路に進まれることと思います。

4組 黒田 幸治先生
ご卒業おめでとうございます。クラス的一年間を振り返ってみると、委員長・副委員長が責任感をもって全体を牽引し、皆がお互いに助け合いながら学校生活を過ごしてきました。特に慶進祭では中国大会の日と重なって参加できないことや当日に不測の事態が起きたことを皆の協力で乗り越えました。もちろん参加できない人も前日までの準備を率先して進めてくれました。個々が今できることに一生懸命取り組んで、卒業式を迎えました。

コース長 藤生 博之先生
グローバルコース13期生のみなさん、卒業おめでとうございます。これから、進んで行く道はそれぞれ違いますが、自分の『夢』の実現に向けて頑張ってください。吉田松陰のことは『夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。』とあります。『夢』を実現するためには、実行力が大事です。実行に移すには計画性や決断力が必要です。いつまで何をどこまでできるかという目的を定め、計画を立て、実行する。そうすることによって、『夢』は現実のものとなるはずだと思います。

2組 早川 武先生
皆さん卒業おめでとうございます。いよいよ新しい生活が始まります。初めのことをするときは期待と不安で一杯です。ぜひ、この6年間で学んだことを生かし、未来への確かなイメージを持ち、人生を歩んでください。未来はどつちにも転がります。どうにでもなります。肝心なのは自分で進んでいきます。10年後、20年後、社会は明らかに今とはかなり違っているはず。そんな時代だからこそ、今以上に勤勉になり、他者を敬い、自分の目標を持ち、時代に流されすぎないようにしっかりと幸せな未来を掴んでください。

3組 齋藤 光伸先生
皆さん、卒業おめでとうございます。慶進での生活を終え、新たなステージへ進もうとしているみなさんの背中はとても輝いています。多くの仲間と過ごした貴重な時間、自分の将来について悩み、考えた時間がいまの自分を作り上げています。この訪れた分岐点で、一人ひとりが未来への大きな決断をしたはず。決断が正しかったのかと不安になることがあるかもしれませんが、そんなときこそ過去の自分を信じ、今を前向きに一歩ずつ歩き続けるのです。人生は一度しかありません。大切なのは自分が選んだ道でどう生きるかという一つのことなのです。

1組 杉森 貴憲先生
ご卒業おめでとうございます。希望に溢れて校門をくぐった入学式から早くも三年の月日が流れました。別れは悲しいですが、手の届かないところで活躍する姿を想像すると寂しさよりも嬉しさの方が大きいと思います。なぜなら君たちが人生をかけて「選り、掴み取った」先にある未来に進んでいくからです。慶びに満ちて進む姿を目の当たりにすることができてこんなに嬉しいことはないと思ひ感じました。人生の岐路に立たされたときに踏ん張れるのは「自分の選んだ道」を進んでいると思えるからだと思います。君たちの活躍が遠く離れた慶進まで轟く日を心待ちにしています。それまで変わらず慶進は帰れる場所であり続けます。また会える日までお元気で。

1組 古川 義郎先生
これから他人に対していつも思いやりをもって接することを大切にしてください。

3組 植生 悠平先生
3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。担任としてこの日を迎えられることを心の底から嬉しく思います。皆さんが1年生の時からこの3月までの時の流れは成長の過程であり、その過程を見送ってきた分だけ実感もより強くあります。人生の中での3年間はほんの一部に過ぎませんが、高校生活におけるその3年間は例外です。後の人生そのものを形作るというも過言ではありません。今からは自分の選んだ道、選んだ世界が広がっています。その世界で自分の個性、長所を思う存分活かしてください。興味関心のある物事に数多く触れてください。その先にあるのは社会で輝かしく活躍する皆さんの姿です。

今年、箱根駅伝で三連覇を達成した青山学院大学のS選手。『出雲、全日本大学駅伝では僕が振るわず、Tに助けられました。Tがダメなら僕が走る。それが駅伝。』皆さんは今後も様々な場面で仲間と協力し合いながら、夢・目標を実現してくれることを期待しております。

中高一貫コース



前列右から黒瀬清隆先生(コース主任) 齋藤光伸先生(SIII3) 後列右から古川義郎先生(SIII1) 早川武先生(SIII2) 藤井桜先生(コース長)

1組 古川 義郎先生
ご卒業おめでとう

2組 早川 武先生
皆さん卒業おめでとうございます。いよいよ新しい生活が始まります。初めのことをするときは期待と不安で一杯です。ぜひ、この6年間で学んだことを生かし、未来への確かなイメージを持ち、人生を歩んでください。未来はどつちにも転がります。どうにでもなります。肝心なのは自分で進んでいきます。10年後、20年後、社会は明らかに今とはかなり違っているはず。そんな時代だからこそ、今以上に勤勉になり、他者を敬い、自分の目標を持ち、時代に流されすぎないようにしっかりと幸せな未来を掴んでください。

3組 齋藤 光伸先生
皆さん、卒業おめでとうございます。慶進での生活を終え、新たなステージへ進もうとしているみなさんの背中はとても輝いています。多くの仲間と過ごした貴重な時間、自分の将来について悩み、考えた時間がいまの自分を作り上げています。この訪れた分岐点で、一人ひとりが未来への大きな決断をしたはず。決断が正しかったのかと不安になることがあるかもしれませんが、そんなときこそ過去の自分を信じ、今を前向きに一歩ずつ歩き続けるのです。人生は一度しかありません。大切なのは自分が選んだ道でどう生きるかという一つのことなのです。

グローバルコース



前列右から小松毅先生(学年主任) 藤生博之先生(コース長) 村谷勉先生(コース主任) 後列右から杉森貴憲先生(GIII1) 武富有朋先生(GIII2) 植生悠平先生(GIII3) 黒田幸治先生(GIII4)

1組 杉森 貴憲先生
ご卒業おめでとうございます。希望に溢れて校門をくぐった入学式から早くも三年の月日が流れました。別れは悲しいですが、手の届かないところで活躍する姿を想像すると寂しさよりも嬉しさの方が大きいと思います。なぜなら君たちが人生をかけて「選り、掴み取った」先にある未来に進んでいくからです。慶びに満ちて進む姿を目の当たりにすることができてこんなに嬉しいことはないと思ひ感じました。人生の岐路に立たされたときに踏ん張れるのは「自分の選んだ道」を進んでいると思えるからだと思います。君たちの活躍が遠く離れた慶進まで轟く日を心待ちにしています。それまで変わらず慶進は帰れる場所であり続けます。また会える日までお元気で。

今年、箱根駅伝で三連覇を達成した青山学院大学のS選手。『出雲、全日本大学駅伝では僕が振るわず、Tに助けられました。Tがダメなら僕が走る。それが駅伝。』皆さんは今後も様々な場面で仲間と協力し合いながら、夢・目標を実現してくれることを期待しております。

アドバンスコース



▲右から前田一郎先生(AⅢ-1)
岡崎史恵先生(コース長)
大塚和治美先生(AⅢ-2)
小林隆浩先生(コース主任)

コース長 岡崎 史恵先生
ご卒業おめでとうございます。まず「高校卒業」は、あなたの今までの人生で一番生活が変わる時です。家を出る人も多いと思います。一人暮らしにしても大学にしても高校時代より自由度は大きいはず。新生活がとても楽しみですね！でも主体性の大切さと責任の重さも自覚してくださいね。22歳の時に「東京オリンピック」を経験できる皆さんはとても幸せです。いろんな意味でぜひ積極的に関わって、グローバルな学びをする中で、日本の地方・地域の魅力も再発見して

ほしいと思います。そして世界への情報発信の方法を考えてください。主体性が養える絶好の機会です。皆さんが50歳くらいになる時、日本の人口は一億人を切り、高齢化率は39%と予測されています。世界の誰も体験したことのない時代を生きる皆さん、相当の覚悟をもって今日から新しい歩み始めてください!!母校「慶進」はずっと皆さんを見守っていますよ。

コース主任

小林 隆浩先生
卒業おめでとうございます。

慶進での高校生活、楽しかったり、苦しかったり、喜んだり、うでなかつたり、様々なことが思い出されることでしょう。勉強に、部活動に、生徒会活動に、一生懸命に学校生活を送ったことと思います。高校時代の友達との出会い、貴重な経験は生涯、人生の大きな糧として自分の心の中に残っていくと思います。

これから歩いていく道は、平坦なことばかりではないかもしれませんが、自分の力で、自分の意志と判断力で歩んでいく道です。将来の自分の姿を描き、それに向かっていく新たな一歩です。自分と向き合い、これからの人生を進んでいってください。

1組 前田 一郎先生
卒業おめでとうございます。若いみなさんはいつかこんな人間になりたいという理想があるはず。その理想を高く持ち続けてください。そして、その理想に続く道のスタート地点はみなさんのまさに足元だということと覚えておいてください。遠い理想に向かい一歩ずつ歩いていくのです。これからは時間の管理が大切です。自由な時間をどれだけ自分の未来のために使うのが理想の達成の鍵です。社会はそんな君たちを待っています。至誠です。歯を食いしばって頑張ってください。理想の自分になった頃にまた会いましょう。スーパー慶進でスーパード前田が待っているはずですよ。

2組 大塚和治美先生
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。一人一人にとつて忘れることのできない思



LIFE is KEISHIN 私の3年間

慶進高校で過ごした3年間は、私に大きな変化と成長を与えてくれました。それは、慶進高校で多くの経験を得ることが出来たためです。特に生徒会活動では、それまでのなかった人前に立つという経験を得て、自身の大きな成長となりました。私が3年間無事に充実した高校生活を過ごせたのは、両親や先生方、友人のおかげです。

これからの人生は、慶進で学んだことや経験したことを糧に、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず精一杯過ごしたいと思います。



グローバルコース3年 吉田 智哉
山口大学 人文学部 合格

慶進中学校に入学してからの6年間はとても充実したもので、あっという間に過ぎてしまいました。合唱や宿泊研修、修学旅行などさまざまな行事にも学年で1つになって取り組めてきたのではないかと思います。中には辛い事や想定していないようなこともありました。乗り越えてこれたのは親身になって相談に乗り、支えてくださった友人や先生方のおかげであり、本当に感謝しています。

勉強面では、スタディールームなど静かに集中して勉強できる環境や、わからない問題をわかるまで教えてくださる先生方のおかげで、学校の勉強だけでここまでやる事ができました。

慶進で学んだ多くの経験を大切にしてこれからも頑張っていこうと思います。



中高一貫コース3年 門野 ちひろ
山口大学 医学部医学科 合格

慶進高校で過ごした私の3年間は、とても充実したものでした。

私は高校生活で特に勉強を頑張りました。毎週月曜日に週テストがあるため土日も朝から晩まで勉強しました。週テストや勉強合宿を通じて勉強する習慣を身につけ、着実に学力を伸ばしていくことができました。

勉強に追われる毎日は辛いものでしたが、私の夢を応援してくださる先生方や同じ目標を持った仲間がいてくれたからこそ頑張り抜くことができたのだと思います。

慶進高校で学んだことを忘れずに、大学入学後も頑張りたいと思います。ありがとうございました。



アドバンスコース3年 下村奈津海
山口大学 人文学部 合格

たすきをうなぐ

受け継がれる伝統

今からおよそ3年前、初めて慶進高校の門を通った時、皆さんの心の中には、新生活への期待や不安、自分自身の成長の実感など様々な思いが芽生えていたと思います。その思いは日々の学習や部活における向上心、学校行事における仲間との喜びへと変化していったのではないのでしょうか。その精神は、皆さんが卒業した後、後輩へと受け継がれていきます。

私の高校生活は、周りに環境に恵まれていました。何部に入るか決めていない私に、水泳の世界に引き入れ様々な出会いをプレゼントしてくれた友達。何もわからないまま生徒会長となり迎えた行事では、無我夢中に自分の役割に走り続けた体育祭からはじまり、俵田体育館で行われた慶進祭ではMC&T-soulをはじめとする関係者のみなさんが盛り上げてくれて素晴らしい最後を迎えることができました。多くの経験をさせてもらい、これから夢に向かって進む私の道しるべになりました。一つ一つの出会いを大切に、卒業する時にここに来てよかったと思えるように残りの高校生活を過ごしてください。

グローバルコース3年 白川 楓



● 体育祭



● 慶進祭



● 修学旅行 関東



● 萩行路



● テーマ発表会



● 修学旅行 シンガポール



● 修学旅行 オーストラリア



● テイクフォーツ



アドバンスコースⅢ2 古賀 詩織

3年前、新しい制服に身を包み、慶進の扉をたたいた時、これから始まる高校生活に胸を高鳴らせたことを鮮明に思い出します。私は生徒会活動を通して、協調性の重要性を学び、自分に無かった新しい視点を持てるようになりました。

1つの行事を企画し運営することは、自分の想像よりもはるかに多くの時間と人の協力が必要でした。その分やりきった達成感というものは大きく、この経験は将来必ず自分の力になると信じています。

そして、どんな時でも私たちのことを真剣に考え、熱心に指導してくださった先生方、勉強で苦しい時、共に励ましあい支えあった友人、時に厳しく、陰ながら見守ってくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。

慶進で過ごした3年間は私にとってかけがえのないものです。高校生活は本当に短いものです。何でも積極的に取り組むことが、きっと自分の糧となるはずです。

残りの高校生活を悔いなく過ごしてください。

今までの人生の3分の1を占める慶進での生活が終わるのだと思うと非常に感慨深いです。6年間は長いようでとても短かったです。

私は元来人前に立つと緊張し頭が真っ白になっていましたが、毎年スピーチコンテストに参加したり、留学を経験したり合唱部の部長として部活動紹介で話す中で、心身ともに鍛えられ、度胸がつきました。自分はまだ人前で話すことは得意なのだという自信まで持てたのは、当時その経験を「する」と決めた自分とそのサポートをしていた方々がいたからです。

6年間の最後の壁として受験に挑んだわけですが、私は勉強自体は嫌いでした。アニメやゲームなど私を誘惑する娯楽の脅威は恐ろしいものです。しかし、私はその脅威にさらされない学校での授業や提出する宿題に関しては本気で取り組みました。誰よりも聴き、考え、理解した自信があります。その積み重ねがあったからこそ、私は受験に打ち勝つことができたのだと確信しています。



中高一貫コースⅢ3 白石 陽子

thank you KEISHIN

My Graduation

いつも当たり前のように通っていた学校がいつの間にか「母校」となる瞬間があります。それが今日です。

卒業を迎え、今みなさんはどんな気持ちでこの3年間の思い出を振り返っていますか。楽しかった思い出や後悔、達成感などさまざまな感情が今胸を駆け巡っているのではないのでしょうか。

今回はそんな3年間の思い出や感謝の気持ち、また後輩から先輩へのお祝いの言葉を載せてみました。

グローバルコースⅢ3 岡田 壮史



私たちは、挨拶や会話というパスをつなぎ、力強いドリブルで大人の階段を駆け上がり、困難や苦悩という敵に立ち向かいながら今、卒業という名のゴールを決めようとしています。

そんな高校生活の中で、私は色々なことに挑戦してきました。慶進祭では、T-soulとして活動しましたが、やりがいと同時にうまく盛り上げることができるのかというプレッシャーを感じていました。ですが、結果として無事に成し遂げることができ、大きな達成感を味わえたことは、私自身の成長に大きくつながったと思います。

また、私はサッカー部に所属していました。思い返せば、仲間と共に無我夢中で練習に取り組み、楽しいことも苦しいことも共有し続けられたことは、とても貴重な体験だったと思います。この経験を活かし、次のステージでもサッカー部の3Kである「感謝・謙虚・感動」の精神を胸に、挑戦し続けていきます。

1、2年生の皆さんも、友達を大切に、先生方に感謝して、様々なことに挑戦してください。そして、最高のシュートを打てるよう一日一日を大切に過ごしてください。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間の高校生活はいかがだったでしょうか。慶進に入ってからの3年間は、楽しいことがあった反面、辛いこともたくさんあって、あつという間だったことと思います。

私は部活動等に所属しておらず、先輩方と話す機会は少なかったのですが、1日だけたくさんの先輩方に声をかけていただいたことを覚えています。それは体育祭の日です。新生徒会になって初めての大きな行事で、なかなかうまくいかなかったことを反省し、生徒会長挨拶の際に「坊主にする」と宣言した後、グラウンド整備、片付けの際に温かいお言葉をいただきました。生徒会長としてまだまだ力が不足している私のことを笑顔で受け止めてくださる先輩方の優しさに感動したと同時に、今まで行事を何事もなく楽しめたのは先輩方の力のおかげであったと強く感じました。

私は卒業生の皆さんをととても尊敬しています。生徒会に所属してきて、その思いがいっそう強くなりました。生徒会長となり、いざ生徒会の仕事が始まると、生徒会の活動で手一杯で、他のことになかなか手が回りません。しかし、先輩方は勉強や部活動、生徒会活動を見事に両立しておられました。先輩方をお手本に、私もきちんと両立を図りたいと強く思います。

これから先輩方は慶進を卒業し、それぞれの夢へと進んでいかれます。その夢を叶える途中で辛いことがあるかもしれませんが、その時には、慶進で過ごした3年間の思い出を思い出してみてください。きっと元気になれることでしょう。卒業されても「独立自尊・至誠一貫・敬愛感謝」を忘れず、お身体に気をつけて新たな生活を楽しまれてください。

生徒会長
アドバンスコースⅡ1 松山 勇輝

先生文庫

蔵書数およそ500冊。慶進の先生方が今までに読んだ本が置かれ、たくさん並んでいます。新書、小説、古典作品、スポーツ、写真集など、並べられた本のジャンルは多岐にわたっています。本を手にとると分かりますが、本の上部には持ち主である先生の名前が刻印されています。どの先生がどんな本を読んだのかが分かるようになっているのです。

「先生文庫」を企画・立案し、今では本棚のレイアウトまで手がけているのが秋穂先生です。秋穂先生は、「相談室には毎日たくさんの生徒がやってきて、先生に質問したり、相談したりしています。そんな場所でふと横を見れば素敵な本が並んでいる。相談室をそういう場所にできたらと思い設置してもらいました。まだまだこの本棚の存在を知らない人もたくさんいるのではと思いますが、図書室には無い本もありますし、なにより手軽に利用できるのが最大の魅力です。使い方は気になる本を持ち主の先生に直接借りに行くだけです。ぜひ一度空いた時間に相談室を覗いてみてください。」と、生徒の皆さんの利用を切に願っています。



慶進の小窓

Vol.15

この小窓を開ければ、常盤公園が見える。あの小窓を開ければ、第一グラウンドが見える。慶進にはそんな小窓がたくさんあります。でもきつと慶進を見るための小窓もあるはず。そんな小窓を紹介するコーナーが、「この慶進の小窓」第15回の「小窓」は、「先生文庫」です。職員室前にある相談室。休み時間や放課後は、質問に来た生徒とそれに答える先生たちでいっぱいになります。「先生文庫」はそんな活気あふれる空間に設置された本棚です。ここには先生方が過去に読んだおススメの本がいくつかあります。どんな本があるのか、少しのぞいてみましょう。



頑張れ慶進生 夢はゆずれない

平成28年度 大学入試合格状況 (2月18日現在)

国公立大学

- 名古屋大学1
- 山口大学9(医5)
- 山口県立大学3
- 防衛大学校1

私立大学

- 早稲田大学1
- 上智大学3
- 東京理科大学2
- 青山学院大学3
- 東海大学1
- 日本大学2
- 国士館大学1

- 駒沢大学3
- 同志社大学2
- 関西大学6
- 関西学院大学5
- 関西外国語大学1
- 神戸学院大学1
- 安田女子大学4
- 山口学芸大学3
- 西南学院大学2
- 福岡大学7
- 西南女学院大学3
- 立命館アジア太平洋大学2
- など

From the Locker Room vol.12



陸上部 受け継がれるよき伝統

青山学院大学が駅伝で世間の注目を集めるなか、本校では4年連続で中国大会出場を果たした陸上部に注目が集まっています。インターハイ予選男子800mで壹岐くんが5位で中国大会出場を果たし、また、惜しくも出場を逃しましたが女子100mで田中さんが、800mで網屋さんが県決勝に進みました。このように目覚ましい活躍を続けていますが、高校から陸上を始めた部員も多く在籍しています。中学校はバスケ部に所属していた田中さんは「入部した時から中国大会出場を目標にしており、先輩を抜いてリレーメンバーに入りたいと思いながら必死に練習してきました。初心者の私が一番苦手であったラダーは強化合宿に行き全身筋肉痛になりながら学んだおかげで、亀山先生に褒めてもらえるまでに成長できたことが一番嬉しい思い出です。」と語ってくれました。花形である100m走で結果を出した裏には、高い志と並大抵ではない努力があったのでしょう。また、残された部員に対しても「リレーメンバーの後輩3人は、いつでも明るくどんなメニューも一切の弱音を吐かず進んで練習に取り組む姿を見て元気をもらっていました。陸上部に入り、目標も達成し、人としても強くなったと思います。今後、部員が増えることを願っています。」と温かいメッセージを残してくれました。引退する3年生の凛とした表情や、日頃の学校生活見て「人として」着実に成長する部活動だと気づかされました。バトンを受け継いだ慶進高校陸上部の活躍に今後も期待が集まります。

Keishin Radio Station

慶進生や先生をゲストに迎え、放送中の「This is Keishin Radio Station」。慶進生の日常から、学校行事、先生方のちょっとした裏話まで話題盛り沢山で放送中です。慶進生のリアルな声を通じて、ぜひ人間力に触れてみてください。ナビゲーターの松原さんと田中先生の息の合った軽快なトークにも注目です。

■FMきらら 80.4mhz ■サンサンきらら 89.7mhz

毎週金曜日17:00~絶賛放送中

